

2026年6月9日
フューチャー株式会社
(東証プライム:証券コード 4722)

フューチャー、医療業界向け AI 伴走型コンサルティング「Future MedicaI」を提供開始 AI による高速プロトタイピングで現場課題の即時解決とユーザーへのノウハウ移転を推進

フューチャー株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:谷口友彦、以下「フューチャー」)は、2026年6月より、医療機関や医療業界の企業向けに、AIを活用してシステム開発と業務改革を短期間で実現するAI-Driven コンサルティングサービス「Future MedicaI(フューチャー・メディカル)」の提供を開始します。本サービスは、最新のAIをエンジンとした高速アジャイル開発と現場の業務改善を融合させた次世代型のコンサルティングサービスです。さまざまな業界の基幹システム刷新やビジネス変革を通じて蓄積してきた、フューチャーの高度なIT実装力と最新のAI技術で医療業界のDXをトータルにデザインします。

近年、医療機関の働き方改革や、企業における競争力強化において、AIを活用したDX推進が注目されています。しかし、従来のシステム開発や業務改革のアプローチでは「要件定義から実装までに膨大な時間がかかる」「変化の激しい現場のニーズに答えられず、完成時に実態との乖離が生じやすい」といった課題がありました。さらに、導入後も既存システムとのデータ連携やセキュリティ要件などが障壁となり、十分な効果を得られず現場のDXが停滞するケースも少なくありません。

フューチャーおよび主要事業会社のフューチャーアーキテクト(本社:東京都品川区、代表取締役社長:齋藤洋平)は、多種多様な業界で培った豊富な業務知見と、AIをはじめとする最新テクノロジーの実装力に大きな強みがあり、独自のAI駆動開発による飛躍的な生産性向上に取り組んできました^{*1}。

医療・ヘルスケア領域においても、専門チームであるHealthcare Innovation Groupを中心に、一貫して先端技術の社会実装を推進しています。日本政府が進める医療DX^{*2}におけるデジタル庁の「標準型電子カルテの本格展開に向けたα版の改修業務」などの受託^{*3}や、SaMD(プログラム医療機器)の開発から上市^{*4}、神戸大学との医療現場の改善とDX推進のための共同研究^{*5}などを通じて、実績とノウハウを蓄積してきました。

今回提供を開始する「Future MedicaI」は、独自のAI開発のノウハウと、医療領域の深い知見を融合し、DXと業務改革を高速で実現する伴走型のコンサルティングサービスです。医療機関や企業の現場課題に対してAIを活用したアジャイル開発を実施し、運用に向けたチューニングと効果測定のサイクルを短期間で回していくことで、それぞれの現場に最適化されたAI駆動開発およびAI利活用モデルを確立します。将来的には、こうした成果を集約した情報基盤の構築や、現場へのノウハウ移転も含めた人材育成のサポートも予定しています。

■Future MedicaIの特長

1. プロトタイプによる現場実証と実効性の定量化

現場の実運用に即した体験型プロトタイプを数日～数週間で提示し、早期の実証実験(PoC)を実施。実際のUI/UX体験を通じ、作業時間の短縮や業務効率化の指標を概算して定量化。明確な投資対効果を提示。

2. AI駆動開発プロセスから得られる知見の蓄積

プロトタイプをもとにした検証・改善のサイクルを繰り返すAI駆動開発プロセスで得た現場の業務知見を、AIのコンテキストとしてシステム基盤へ蓄積。属人的なノウハウに依存せずAI自らが継続学習して精度を高める自律進化型の業務改善モデルを構築。ユーザーにも共有・移転することで、現場の自走化を見据えた人材育成を段階的に支援。

3. 実運用に向けた医療機関や医療業界特有の導入課題をクリア

既存システムとの連携や国の定める医療情報セキュリティ基準への対応など、AI導入にあたって検討すべき課題を特定。本番環境に必要なアーキテクチャ要件を定義し、安全で確実な実運用をサポート。

従来のDX / システム開発型



AI伴走型 業務改善モデル

特長

- 全行程をAIで高速化し、数日～数週間のサイクルで価値を創出
- 現場のフィードバックをリアルタイムに反映し、精度と効果を継続的に向上
- 小さく始めて確実に成果を出し、横展開・拡大を加速

数日～数週間で
サイクルを回し
未来価値を
積み上げ



AIを活用し、各工程を短期化・高速化 現場で価値を創出しながら継続的に成果を拡大

フューチャーは本サービスを通じて、医療現場の負担軽減や持続可能な医療の提供、企業の生産性向上を支援し、ステークホルダーと共に AI ネイティブな社会の実現と、社会課題の解決を目指してまいります。

■フューチャーの医療・ヘルスケア事業について

https://www.future.co.jp/architect/our_service/solution/#healthcare01

*フューチャーは医療機器製造業登録および第二種医療機器製造販売業許可を取得しています。

医療機器製造業：13BZ201433、第二種医療機器製造販売業：13B2X10480、ISO/IEC 27001:2013、ISO13485:2016

【経営と AI をデザインする、AI 利活用と社会実装 No.1 カンパニーへ】

フューチャーは以下の 3 つを柱にテクノロジーと経営を高度に融合させ、お客様とともに未来を共創する唯一無二の戦略的パートナーを目指します。

- **経営と IT の強み×AI の融合**：創業以来培ってきた経営への深い理解と IT の実装力に AI を融合させ、企業の競争力を抜本的に強化します。
- **AI-Native へ産業を再定義**：AI を単なる付加機能ではなく事業の前提とする「AI-Native」なビジネスモデルへと、既存の産業構造を再定義します。
- **社会の要請に応える課題解決**：労働力不足や DX の遅れといった複雑な社会課題に対し、AI を活用した高度な自動化と最適化で具体的な解決策を提供します。

※1 フューチャー、AI 社会実装 No.1 カンパニーを目指しステートメントを発表

「AI 駆動開発」による生産性 3 倍と AI×IT のトータルデザインにより社会課題解決を加速(2026 年 4 月 30 日)

https://www.future.co.jp/press_room/PDF/PressRelease_FUTURE_AIstatement_20260430.pdf

※2 厚生労働省「医療 DX について」<https://www.mhlw.go.jp/stf/iryoudx.html>

※3 フューチャーグループ、公共領域の支援を拡大

日本政府が取り組む医療 DX を推進し、社会課題の解決に貢献(2025 年 8 月 20 日)

https://www.future.co.jp/press_room/PDF/PressRelease_HealthcareInnovation_0820.pdf

※4 フューチャーがアイ・ブレインサイエンスとともに開発した日本初の認知症診療支援に用いる検査機器ソフトウェア、「ミレボ®」が販売開始(2025 年 1 月 14 日)

https://www.future.co.jp/press_room/PDF/PressRelease_HealthcareInnovation_20250114.pdf

※5 神戸大学とフューチャーが共同研究契約を締結 大学と病院における DX を協業で推進(2023 年 8 月 17 日)

https://www.future.co.jp/press_room/PDF/PressRelease_KUHDXpropulsion_230817.pdf

■本件に関するお客様からのお問い合わせ先

フューチャー株式会社 Healthcare Innovation Group: 宮内、石川、中元

お問い合わせフォーム：https://www.future.co.jp/apps/contact/corp/others_entry.php

■報道機関からのお問い合わせ先

フューチャー株式会社広報: 新出、松本、石井 TEL:03-5740-5721

お問い合わせフォーム：https://www.future.co.jp/apps/contact/corp/press_interview_entry.php